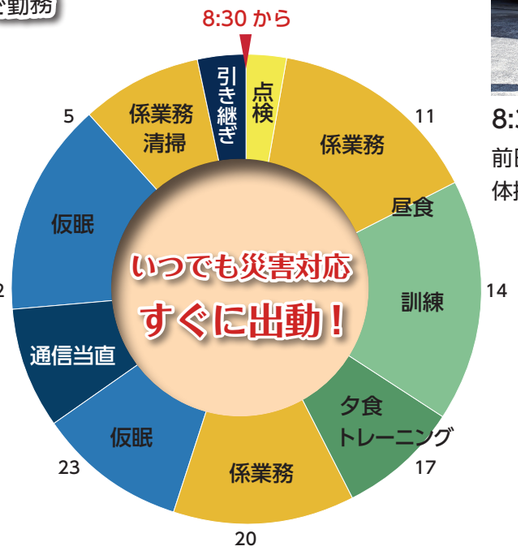
密着！消防24時

3つの小隊が24時間交替で勤務

22:00　仮眠・通信当直

交代で仮眠し、119番を受ける通信指令室の勤務を2時間当番します。



8:30　勤務開始

前日勤務の小隊と交代し、朝の体操から始まります。

8:50　日常点検

車両と資機材を点検し、すぐに出動できる態勢を整えます。

ミーティングと反省が大事！

13:00　消防訓練

さまざまな状況を想定して訓練に励みます。

10:00　係業務

届け出の処理など事務作業も大事な仕事の一つです。

● 1秒でも早く現場へ ●

学生の頃、スポーツをしていたので、将来は体力を生かせる仕事に就きたいと考え、消防士になりました。新人のときは、効率よく消防活動を行うため、休日に市内を回って水利施設や道路を記憶したり、資機材の操作を覚えたりしていました。夏の火事に耐えうる体づくりのため、走り込みも欠かさず行っていました。今は、事故を想定した出動訓練を大事にしています。訓練後には、地図を見て隊員全員で反省し、改善点を話し合います。いかに早く現場に到着し、市民を助けることができるか常に考え、最大限の努力をしています。

● どんなときも優しく、強く ●

住民が身の危険を感じたときに呼ばれるので、安心してもらえるよう電話では丁寧に対応し、悪いところや痛いところの理解に努めています。

常日頃から、先輩・後輩へ同じように接しています。どんな時も焦らず、誰にでも同じ対応を心がけ、信頼できる消防士を目指します。

● 皆さんへのメッセージ ●

私たちはいつでも現場に急行できるよう準備を整え、迅速に動いています。119番にかけるとき、まずはご自身の安全を確保し、安全な場所から通報してください。救急車や消防車を待つ時間が不安だと思いますが、現場に必ず到着しますので、落ち着いて待っていてほしいです。私たちも信頼してもらえると活動しやすいです。

消防職員　6年目
大森（おおもり）　優作（ゆうさく）　さん

特集　いのちと暮らしを守る消防

市消防本部は、緊急時に備えてまちと人々の安心・安全を守っています。24時間365日、暮らしを守り続ける消防職員にスポットを当ててお伝えします。

市民が安心して暮らせるように

宇佐市は、長い海岸線と穏やかな海が広がる海浜地域、広い平野部、大規模な森林地域、中山間地域、内陸盆地と変化に富んだまちです。市街地には消防本部・消防署、南部の山郷地域には南部分署、北部の海浜地域には長洲出張所が配置され、市民の生命・身体・財産を守っています。

広大な平野となだらかな河川に守られ、スムーズに現場へ行ける一方で、自然災害の発生が比較的少ない地域ともいえますが、全国的に災害が複雑多様化している中、有事の場合に十分に対応できるよう日々訓練を積んでいます。さらに、消防職員は、各分野で専門的かつ的確に判断・処理できる体制を整えています。

市消防本部 宇佐消防署
小原（こはら） 九州男（くすお） 署長

若手の人材育成を

消防職員の最大の任務である人命救助で、最も重要なのは現場の安全管理です。当然、自分の身を守れずに人の命を助けることはできません。職員にも家族や大切な人がいます。

職員の若年化が進み、人材育成が急務となっています。消防学校や研修、日頃の訓練を通じて経験の少ない若手に、今までの経験と技術を伝え、安全管理のさらなる強化を図ります。

消防活動はチームプレー

災害時において、求められるのは隊員同士のチームワークです。足りない部分を補い合うことも重要ですが、現場で、一人一人が与えられた責務を果たすことで高い総合力を発揮することができます。1＋1が、3や4になるように、各々の立場で職務を全うすることに徹底します。組織力を高めて、市民の皆さんの安全確保に努めます。

市民の皆さんも、火災の予防や救急車の適正利用にご理解、ご協力をよろしくお願いします。

救急車を呼んだら消防車も来た！？

市消防本部では、救急隊の補助として消防隊も救急現場へ出動することがあります。狭い通路や階段がある場所、高速道路など救急隊だけでは活動が困難な事態と考えられるとき、消防隊と連携して早期に適切な救急活動を行うためです。

消防車と救急車の連携は、それぞれの頭文字をとってＰＡ連携と呼び、全国的に広く運用されています。

消防隊

火災現場に駆けつけて消火活動します。逃げ遅れた人や負傷者の救出も行います。救急現場に行って救急隊を手伝うこともあります。

救急隊

急病人などを救うため、現場へ急行し、処置を行いながら医療機関に搬送します。救急車には、専門的な救命処置を行える救急救命士が必ず乗ります。

救急救命士になるには経験と知識が必要

救急救命士の資格を取得すると、一般の救急活動だけでなく、医師の指示を仰ぎながら救急救命処置を行うことができるようになります。

救急救命士への道のり

県消防学校で救急科修了
↓
救急隊を５年以上または2,000 時間以上経験
↓
研修所で約７カ月間学習
↓
国家試験に合格
↓
晴れて 救急救命士

救助隊

火災や交通事故、水難事故などさまざまな災害現場へ駆けつけて救出・救助に当たります。火災現場では消防隊とともに消火活動も行います。

指令室

市民からの 119 番通報を受けて場所や状況を特定し、適切な車両などを判断して現場へ向かわせます。迅速で効率的な消防活動を可能にするための重要な施設です。

通報から出動指令までをいち早く！

市の通信指令室では 119 番通報を受けたら、災害発生場所が判明した時点で出動指令をかけています。その後、傷病者の症状や何が燃えているかなどの詳細を聞き取り、現場へ向かっている緊急車両に情報を伝えています。

119 番にかけたら 落ち着いて指示に従おう！

焦りや不安を感じても大丈夫です。通信指令員が質問や指示をくれるので落ち着いて従いましょう。

- 携帯やスマホの位置情報機能をオンに
- 場所は通称や小字を使わず、住所と番地で
- 場所がわからないときは、カーナビの現在地や周りの目標物、移動経路の説明を

もしものときに備えた合同訓練

災害現場では、ときに警察や医療機関も出動したり、市外や県外の消防と協力したり、他機関との連携が必要となります。消防活動の充実と強化を目的に、さまざまな合同訓練を計画・実施しています。

1 防災ヘリ
2 DMAT
3 山岳救助
4 水難救助

大切な人の命が救えなくなる前に…
救急車の適正利用にご協力を

近年、救急出動件数の増加に伴い、救急車が現場に到着するまでの時間が長くなっています。令和３年の救急出動件数は2,775件で、１日の平均出動件数は7.6件でした。

救急車は限りある資源です。本当に救急車を必要とする人のために救急車の適正利用にご協力ください。

その119番は緊急ですか？

× タクシー代わり
× 病院の診察の割り込み
× 夜間、休日の病院探し

宇佐市民の人口約53,000人に対して、救急車は３台しかありません

救急車を呼んでいいか迷ったら…

救急車を呼ぶか迷ったときは、かかりつけ医または市消防本部（☎32-0119）へご相談ください。

症状の緊急度を判定するアプリ「Q助（きゅーすけ）」も便利です。救急車を呼ぶ目安がわかります。

＼急なけがや病気／
救急車？病院？
どこの病院？

全国版救急受診アプリ「Q助」

あなたのチカラを消防団に　消防団員募集

問合せ
市消防本部 総務課（☎27-8221）

消防団員は「自らの地域は自らで守る」をモットーに、地域を火災や自然災害から守るための活動をしています。市では随時、消防団員を募集しています。

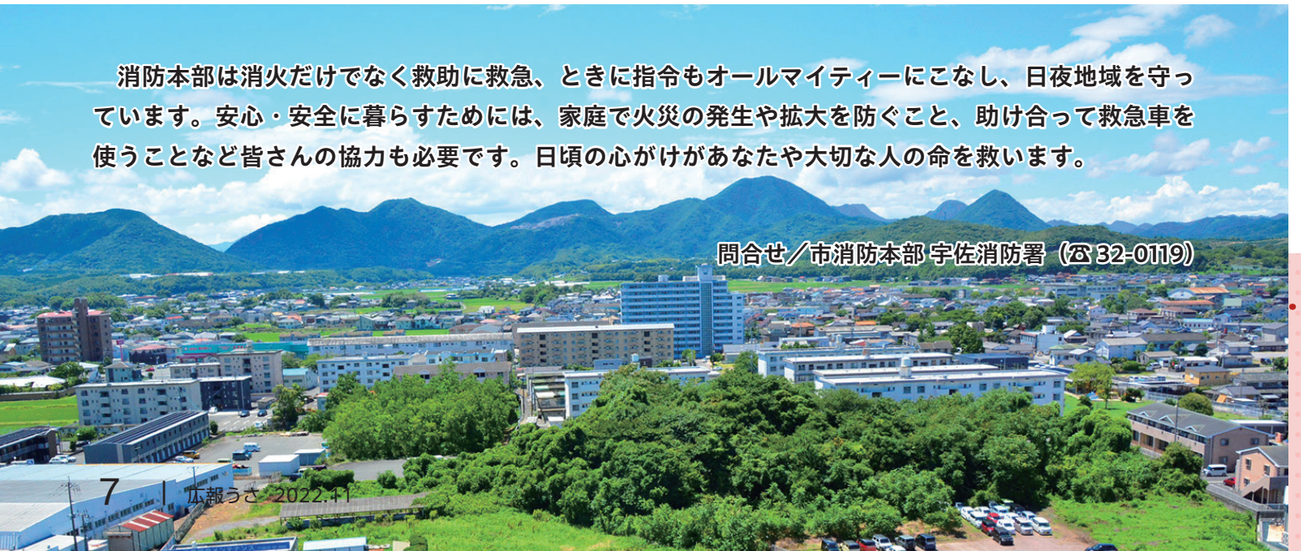
どんな人を募集をしているの？

○ 市内にお住まいまたは通勤・通学している方
○ 18歳以上の方

どんな活動をしているの？

○ 地域で発生した火災の鎮圧
○ 地震・風水害などの防ぎょ活動
○ 災害の予防広報活動

消防団は誰でも参加できる活動です。詳しくはお問い合せいただくか、市ホームページをご覧ください。



消防本部は消火だけでなく救助に救急、ときに指令もオールマイティーにこなし、日夜地域を守っています。安心・安全に暮らすためには、家庭で火災の発生や拡大を防ぐこと、助け合って救急車を使うことなど皆さんの協力も必要です。日頃の心がけがあなたや大切な人の命を救います。

問合せ／市消防本部 宇佐消防署（☎32-0119）

「お出かけは　マスク戸締り　火の用心」
11月9日～15日は秋季全国火災予防運動

火災警報器の点検方法

問合せ／市消防本部 予防課（☎27-8222）

期間中は、住宅用火災警報器の設置および維持管理の徹底など、住宅火災の防止対策を中心とした火災予防を呼びかけます。また、住宅用火災警報器は設置後、約10年が経過すると電池切れや故障がみられるため、交換が必要です。点検方法は市ホームページをご覧ください。

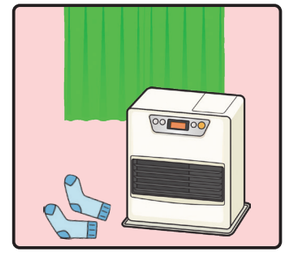
住宅防火 いのちを守る 10のポイント

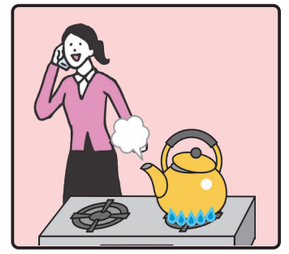
４つの習慣

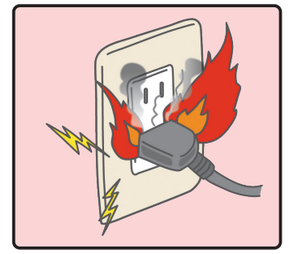
1. 寝たばこは絶対にしない、させない。
2. ストーブの周りに燃えやすいものを置かない。
3. こんろを使うときは火のそばを離れない。
4. コンセントは埃を清掃し、不必要なプラグは抜く。

６つの対策

1. 火災の発生を防ぐため、ストーブやこんろなどは安全装置の付いた機器を使う。
2. 火災の早期発見のため、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する。
3. 火災の拡大を防ぐため、部屋を整理整頓し、寝具、衣類、カーテンは、防炎品を使う。
4. 火災を小さいうちに消すために、消火器などを設置し、使い方を確認しておく。
5. お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく。
6. 防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防災対策を行う。







防火演奏

◆豊川こども園幼年消防クラブ
日時　11月9日（水）　10:00から
場所　トキハインダストリー宇佐四日市店

◆ことぶき幼稚園幼年消防クラブ
日時　11月15日（火）　10:30から
場所　トキハインダストリー長洲店